

米国 11年ぶりの高成長に改定（14年7-9月期実質GDP：確報）

発表日：2014年12月23日（火）

～個人消費の大幅修正などにより実質GDPは前期比年率+5.0%に加速～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治

03-5221-5001

実質GDP（Gross Domestic Product）

	実質GDP	個人消費	住宅投資	設備投資	在庫投資	政府支出	純輸出	輸出	輸入	名目GDP	GDP デフレーター
2006	+2.7	+3.0	▲7.6	+7.1	(▲0.35)	+1.5	(+0.34)	+9.0	+6.3	+5.8	+3.1
2007	+1.8	+2.2	▲18.8	+5.9	(▲0.13)	+1.6	(+0.95)	+9.3	+2.5	+4.5	+2.7
2008	▲0.3	▲0.3	▲24.0	▲0.7	(▲0.62)	+2.8	(+0.73)	+5.7	▲2.6	+1.7	+1.9
2009	▲2.8	▲1.6	▲21.2	▲15.6	(+0.16)	+3.1	(+1.06)	▲8.8	▲13.7	▲2.0	+0.8
2010	+2.5	+1.9	▲2.5	+2.5	(+0.76)	+0.1	(▲0.58)	+11.9	+12.7	+3.8	+1.2
2011	+1.6	+2.3	+0.5	+7.7	(+0.20)	▲3.0	(▲0.03)	+6.9	+5.5	+3.7	+2.1
2012	+2.3	+1.8	+13.5	+7.2	(▲0.48)	▲1.4	(+0.26)	+3.3	+2.3	+4.2	+1.8
2013	+2.2	+2.4	+11.9	+3.0	(+0.54)	▲2.0	(+0.26)	+3.0	+1.1	+3.7	+1.5
12/1Q	+2.2	+2.8	+25.5	+5.9	(▲0.20)	▲2.7	(▲0.11)	+1.3	+1.8	+4.4	+2.1
12/2Q	+1.6	+1.3	+4.3	+4.4	(+0.27)	▲0.4	(▲0.04)	+4.8	+4.0	+3.5	+1.8
12/3Q	+2.5	+1.9	+14.0	+0.8	(▲0.19)	+2.7	(+0.39)	+2.1	▲0.6	+4.4	+2.1
12/4Q	+0.1	+1.9	+20.3	+3.6	(▲1.80)	▲6.0	(+0.79)	+1.5	▲3.4	+1.6	+1.3
13/1Q	+2.7	+3.6	+7.8	+1.5	(+0.70)	▲3.9	(▲0.08)	▲0.8	▲0.2	+4.2	+1.3
13/2Q	+1.8	+1.8	+19.0	+1.6	(+0.30)	+0.2	(▲0.54)	+6.3	+8.5	+2.9	+1.2
13/3Q	+4.5	+2.0	+11.2	+5.5	(+1.49)	+0.2	(+0.59)	+5.1	+0.6	+6.2	+1.7
13/4Q	+3.5	+3.7	▲8.5	+10.4	(▲0.34)	▲3.8	(+1.08)	+10.0	+1.3	+5.0	+1.5
14/1Q	▲2.1	+1.2	▲5.3	+1.6	(▲1.16)	▲0.8	(▲1.66)	▲9.2	+2.2	▲0.8	+1.3
14/2Q	+4.6	+2.5	+8.8	+9.7	(+1.42)	+1.7	(▲0.34)	+11.0	+11.3	+6.8	+2.1
14/3Q	+5.0	+3.2	+3.3	+8.9	(▲0.03)	+4.4	(+0.78)	+4.6	▲0.9	+4.9	+1.4

（注）数字は前期比年率伸び率。但しカッコ内は対実質GDP寄与度（前期比年率ベース）

7-9月期の実質GDP P成長率は前期比年率 +5.0%

14年7-9月期実質GDP成長率の確報値（3次推計）は、前期比年率+5.0%（改定同+3.9%、速報同+3.5%）と大幅に上方改定され、03年7-9月期の同+6.9%以来11年ぶりの高成長となった。

個人消費が前期比年率+3.2%（改定同+2.2%、速報同+1.8%）と大幅に上方修正されたほか、設備投資が前期比年率+8.9%（改定同+7.1%、速報同+5.5%）、住宅投資が前期比年率+3.2%（改定同+2.7%、速報同+1.8%）、在庫投資の寄与度が前期比年率▲0.03%（改定同▲0.12%、速報同▲0.57%）と上方改定された。

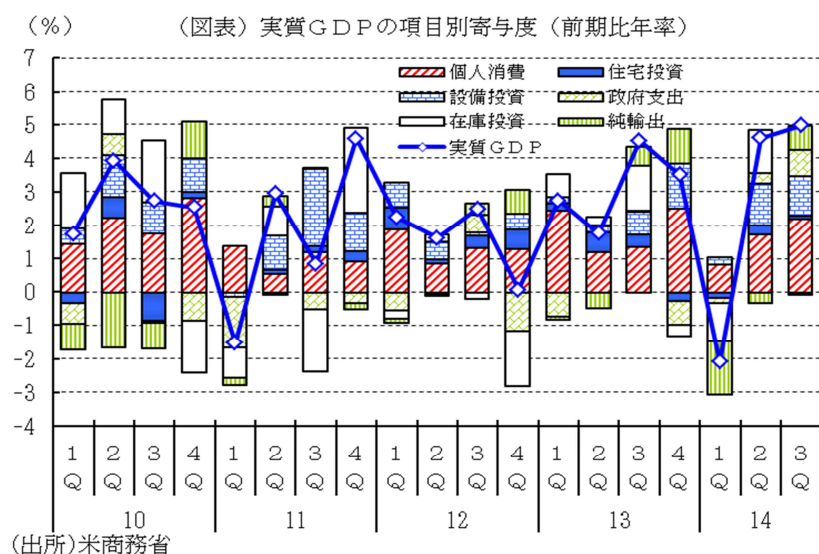
一方、純輸出の寄与度が前期比年率+0.78%と改定の同+0.78%から変わらず、速報の同+1.32%からは下方修正となった。また、政府支出は同+4.4%と改定の同+4.2%から上方修正も、速報の同+4.6%からは下方修正された。

また、実質国内最終需要は、前期比年率+4.1%（改定同+3.2%、速報同+2.7%）と大幅な上方改定となった。

個人消費がけん引役

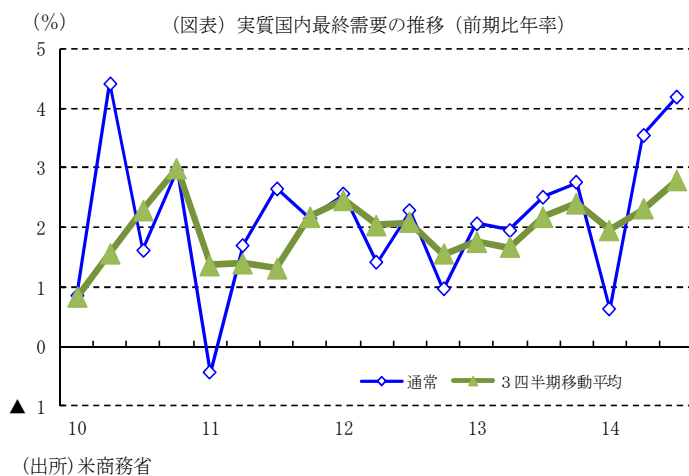
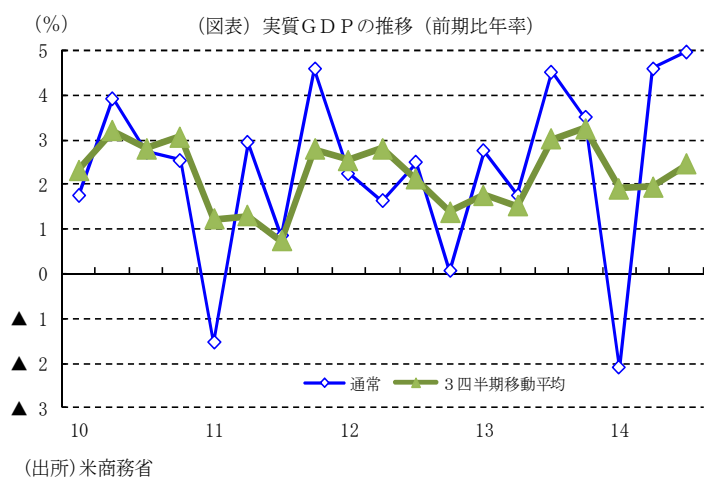
前期からの動向をみると、14年7－9月期の実質GDP成長率（3次推計）は、前期比年率+5.0%（4－6月期同+4.6%）とプラス幅をさらに拡大した。住宅投資が鈍化したほか、設備投資が小幅減速し、在庫投資がマイナス寄与に転じた一方で、サービス、非耐久財が加速した個人消費の伸びが速まったほか、政府支出が加速した。また、純輸出のGDP寄与がプラスに転じた。

個人消費は、雇用・所得の緩やかな拡大のほか、金融環境の改善等を背景に拡大した。また、政府支出は中東等での軍事活動の活発化を背景とした国防支出の増加によって押し上げられたほか、純輸出は、前期の反動による輸入の減少に加えて、ウクライナ危機を受けたロシアへのエネルギー依存度引き下げの動きなどを背景としたエネルギー関連輸出の増加によって支えられた。米国景気は速報・確報段階の統計の示していたものと異なり、実際には勢いを増していた。



拡大トレンドは小幅加速

変動が大きいGDP成長率の基調（3四半期移動平均）をみると、7－9月期の実質GDP成長率は前期比年率+2.4%と小幅加速した。また、内需の強さを示す実質国内最終需要は前期比年率+2.8%と加速している。



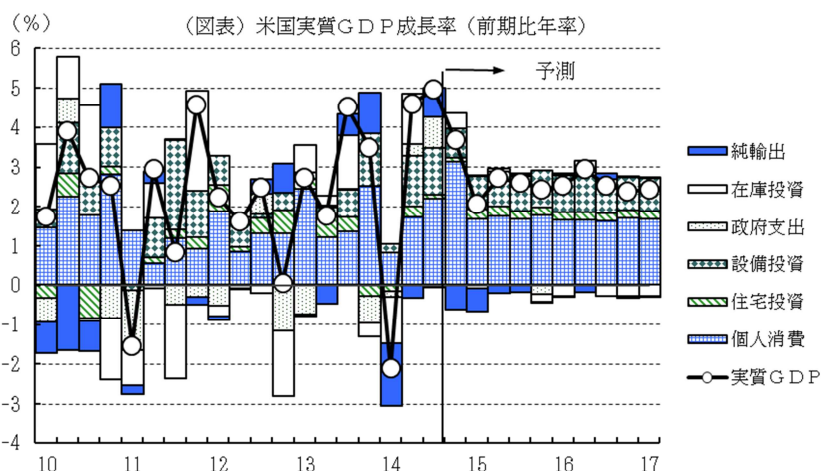
14年10-12月期の実質GDP成長率は前期比年率+3%台半ばに減速も堅調

14年10-12月期には、雇用・所得環境の改善や株高、ガソリン価格の下落、企業の積極的な値引き販売等により個人消費が加速すると予想される。一方で、住宅投資は金利の低下や融資基準の緩和等を受け需要が強まりつつあるものの悪天候の影響もあり、鈍化すると見込まれる。また、政府支出は前期に補正予算が組まれた反動等により減速しよう。さらに、設備投資は機械設備投資の高い伸びの反動等によって、鈍化すると予想される。このため、国内最終需要の増加ペースは小幅減速すると見込まれる。

他では、在庫投資は7-9月期に積み増しペースが抑制されたことから、10-12月期にはプラス寄与に転じ、GDPを押し上げよう。一方、輸出先の景気停滞により、輸出が小幅加速にとどまるものの、輸入が国内需要の拡大に伴う在庫の積み増し等で増加すると予想され、純輸出のGDP寄与はマイナスに転じると見込まれる。この結果、10-12月期の実質GDP成長率は、前期比年率+3%台半ばとなる公算が大きい。

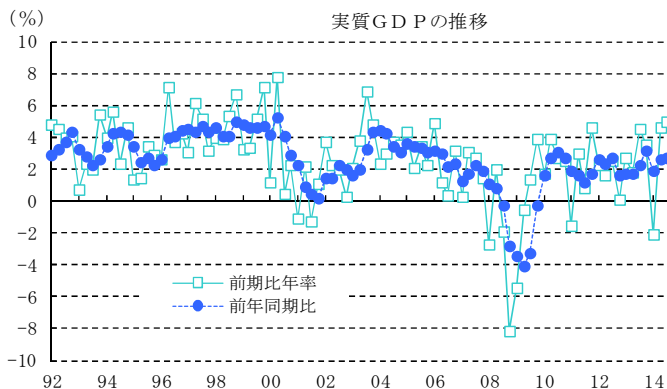
15年には四半期ごとの変動は大きいものの、前期比年率+2%台後半のGDP成長率を維持するとの見方は変わらない。

(図表) 米国実質GDP成長率(前期比年率)

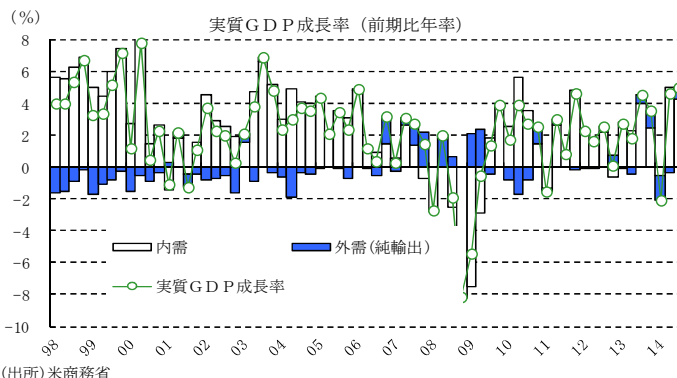


(出所)米商務省、予測は当社。

実質GDPの推移

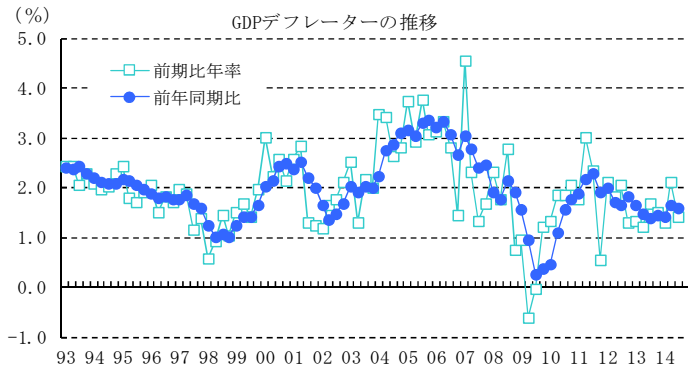


実質GDP成長率(前期比年率)

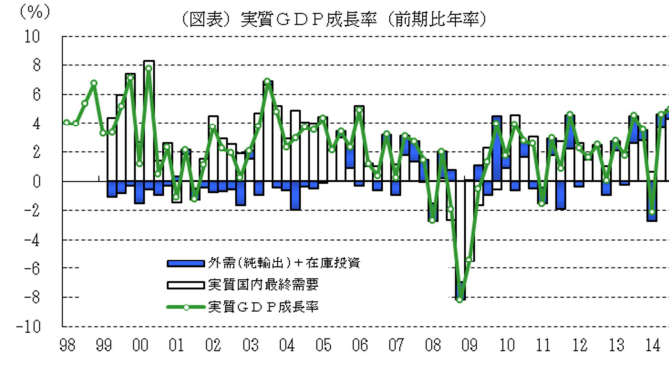


(出所)米商務省

GDPデフレーター推移



(図表) 実質GDP成長率(前期比年率)



(出所)米商務省

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

【改定】

実質GDP（Gross Domestic Product）

	実質GDP	個人消費	住宅投資	設備投資	在庫投資	政府支出	純輸出	輸出	輸入	名目GDP	GDP デフレーター
2006	+2.7	+3.0	▲7.6	+7.1	(▲0.35)	+1.5	(+0.34)	+9.0	+6.3	+5.8	+3.1
2007	+1.8	+2.2	▲18.8	+5.9	(▲0.13)	+1.6	(+0.95)	+9.3	+2.5	+4.5	+2.7
2008	▲0.3	▲0.3	▲24.0	▲0.7	(▲0.62)	+2.8	(+0.73)	+5.7	▲2.6	+1.7	+1.9
2009	▲2.8	▲1.6	▲21.2	▲15.6	(+0.16)	+3.1	(+1.06)	▲8.8	▲13.7	▲2.0	+0.8
2010	+2.5	+1.9	▲2.5	+2.5	(+0.76)	+0.1	(▲0.58)	+11.9	+12.7	+3.8	+1.2
2011	+1.6	+2.3	+0.5	+7.7	(+0.20)	▲3.0	(▲0.03)	+6.9	+5.5	+3.7	+2.1
2012	+2.3	+1.8	+13.5	+7.2	(▲0.48)	▲1.4	(+0.26)	+3.3	+2.3	+4.2	+1.8
2013	+2.2	+2.4	+11.9	+3.0	(+0.54)	▲2.0	(+0.26)	+3.0	+1.1	+3.7	+1.5
12/1Q	+2.2	+2.8	+25.5	+5.9	(▲0.20)	▲2.7	(▲0.11)	+1.3	+1.8	+4.4	+2.1
12/2Q	+1.6	+1.3	+4.3	+4.4	(+0.27)	▲0.4	(▲0.04)	+4.8	+4.0	+3.5	+1.8
12/3Q	+2.5	+1.9	+14.0	+0.8	(▲0.19)	+2.7	(+0.39)	+2.1	▲0.6	+4.4	+2.1
12/4Q	+0.1	+1.9	+20.3	+3.6	(▲1.80)	▲6.0	(+0.79)	+1.5	▲3.4	+1.6	+1.3
13/1Q	+2.7	+3.6	+7.8	+1.5	(+0.70)	▲3.9	(▲0.08)	▲0.8	▲0.2	+4.2	+1.3
13/2Q	+1.8	+1.8	+19.0	+1.6	(+0.30)	+0.2	(▲0.54)	+6.3	+8.5	+2.9	+1.2
13/3Q	+4.5	+2.0	+11.2	+5.5	(+1.49)	+0.2	(+0.59)	+5.1	+0.6	+6.2	+1.7
13/4Q	+3.5	+3.7	▲8.5	+10.4	(▲0.34)	▲3.8	(+1.08)	+10.0	+1.3	+5.0	+1.5
14/1Q	▲2.1	+1.2	▲5.3	+1.6	(▲1.16)	▲0.8	(▲1.66)	▲9.2	+2.2	▲0.8	+1.3
14/2Q	+4.6	+2.5	+8.8	+9.7	(+1.42)	+1.7	(▲0.34)	+11.0	+11.3	+6.8	+2.1
14/3Q	+3.9	+2.2	+2.7	+7.1	(▲0.12)	+4.2	(+0.78)	+4.9	▲0.7	+4.9	+1.4

（注）数字は前期比年率伸び率。但しカッコ内は対実質GDP寄与度（前期比年率ベース）

【速報】

実質GDP（Gross Domestic Product）

	実質GDP	個人消費	住宅投資	設備投資	在庫投資	政府支出	純輸出	輸出	輸入	名目GDP	GDP デフレーター
2005	+3.3	+3.5	+6.6	+7.0	(+0.15)	+0.6	(▲0.22)	+6.2	+6.3	+9.5	+3.2
2006	+2.7	+3.0	▲7.6	+7.1	(▲0.35)	+1.5	(+0.34)	+9.0	+6.3	+5.8	+3.1
2007	+1.8	+2.2	▲18.8	+5.9	(▲0.13)	+1.6	(+0.95)	+9.3	+2.5	+4.5	+2.7
2008	▲0.3	▲0.3	▲24.0	▲0.7	(▲0.62)	+2.8	(+0.73)	+5.7	▲2.6	+1.7	+1.9
2009	▲2.8	▲1.6	▲21.2	▲15.6	(+0.16)	+3.1	(+1.06)	▲8.8	▲13.7	▲2.0	+0.8
2010	+2.5	+1.9	▲2.5	+2.5	(+0.76)	+0.1	(▲0.58)	+11.9	+12.7	+3.8	+1.2
2011	+1.6	+2.3	+0.5	+7.7	(+0.20)	▲3.0	(▲0.03)	+6.9	+5.5	+3.7	+2.1
2012	+2.3	+1.8	+13.5	+7.2	(▲0.48)	▲1.4	(+0.26)	+3.3	+2.3	+4.2	+1.8
2013	+2.2	+2.4	+11.9	+3.0	(+0.54)	▲2.0	(+0.26)	+3.0	+1.1	+3.7	+1.5
12/1Q	+2.2	+2.8	+25.5	+5.9	(▲0.20)	▲2.7	(▲0.11)	+1.3	+1.8	+4.4	+2.1
12/2Q	+1.6	+1.3	+4.3	+4.4	(+0.27)	▲0.4	(▲0.04)	+4.8	+4.0	+3.5	+1.8
12/3Q	+2.5	+1.9	+14.0	+0.8	(▲0.19)	+2.7	(+0.39)	+2.1	▲0.6	+4.4	+2.1
12/4Q	+0.1	+1.9	+20.3	+3.6	(▲1.80)	▲6.0	(+0.79)	+1.5	▲3.4	+1.6	+1.3
13/1Q	+2.7	+3.6	+7.8	+1.5	(+0.70)	▲3.9	(▲0.08)	▲0.8	▲0.2	+4.2	+1.3
13/2Q	+1.8	+1.8	+19.0	+1.6	(+0.30)	+0.2	(▲0.54)	+6.3	+8.5	+2.9	+1.2
13/3Q	+4.5	+2.0	+11.2	+5.5	(+1.49)	+0.2	(+0.59)	+5.1	+0.6	+6.2	+1.7
13/4Q	+3.5	+3.7	▲8.5	+10.4	(▲0.34)	▲3.8	(+1.08)	+10.0	+1.3	+5.0	+1.5
14/1Q	▲2.1	+1.2	▲5.3	+1.6	(▲1.16)	▲0.8	(▲1.66)	▲9.2	+2.2	▲0.8	+1.3
14/2Q	+4.6	+2.5	+8.8	+9.7	(+1.42)	+1.7	(▲0.34)	+11.0	+11.3	+6.8	+2.1
14/3Q	+3.5	+1.8	+1.9	+5.5	(▲0.57)	+4.6	(+1.32)	+7.8	▲1.7	+4.9	+1.3

（注）数字は前期比年率伸び率。但しカッコ内は対実質GDP寄与度（前期比年率ベース）

以上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。